

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2024年 2月 5日

事業所名: 三木自由が丘ゆらんこ

サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	少しでもスペースを確保する為に常設や常備されてある物品を最低限にし、活動中に使用しなくなった物は随時片付けています。また、人数の多さや密になりそうな時には、もう一つの部屋を使用しています	はい9 どちらともいえない Maxの10人+先生だと狭く感じるが、今の人数だと十分です	今後もスペース確保に努めながら、環境を整えていきます。また、公共の場などの活用も視野に入れながら、活動を検討していく。
	2 職員の適切な配置	配置基準のみでなく、利用される児童に合わせて職員を配置しています。	はい10	現状の取り組みを継続していくとともに、各職員の専門性・技術力を高めていきます
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	段差にステップ台を置いたり物の置き場所には個々に応じたものを視覚的に提示しています。	はい9 どちらともいえない	現状の取り組みを継続しながら取り付け可能な物を購入して設置に努めます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	登所前、降所後の清掃を徹底しています。利用児の作品や季節感を取り入れた壁面、誕生児の提示などを職員が毎月制作し、提示しています	はい10	今後も清潔で子ども達が心地よく過ごせる環境作りを行っていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会議や日々の振り返り時にて議論・検討を重ねています。		現状の取り組みを継続する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者委員会は設置しているが、外部評価については受けていない。		法人にて、検討しながら必要に応じて実施する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	新人研修、職員会議内での研修及びロールプレイングを実施。年1回の法人研修を行っています。また虐待研修、身体拘束の適正化、感染予防の研修を実施。		現状の取り組みを継続する。その中で、各職員に応じた研修の充実を、より図る。また研修時間の確保にも努める。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的に担当者会議を開き、アセスメントを行っているとともに、保護者からの要望の聞き取りを行っています。	はい10	今後もより具体的に分析をし、保護者とも共有しながら作成していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況、目標に応じ、個別活動と集団活動を組み合わせ、支援計画を作成している。	はい10	現状の取り組みを継続する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	目標及び具体的な支援内容を記載して作成している。	はい10	現状の取り組みを継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	保育前の情報共有、保育終了の振り返りを行い日々支援方針や方法を確認し、現場に挑んでいる。	はい10	現状の取り組みを継続する。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員が活動プログラムの立案を担当し、前日の打ち合わせ時に必ず確認し意見交換を実施している。		現状の取り組みを継続する。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	生活リズムも視野に入れながら、休日、長期休暇明けには、ゆったりと関わる等、内容を工夫している。		現状の取り組みを継続する。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事を取り入れ、先を見据えた経験ができるような内容、家庭ではなかなか経験できないことなどを活動内容として企画し、行っている。また家庭でも取り組めるような活動も視野に入れている。		さまざまな視点を持ちながら、活動内容を提案していけるよう取り組んでいく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	保育前に必ず打ち合わせを実施。内容、役割分担、分担を確認するとともに前回利用時の様子を振り返り、当日の支援について職員に伝達、確認を行っている。		現状の取り組みを継続する。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	保育終了後の記録記載時に行ない、情報を共有している。		現状の取り組みを継続する。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別の記録に日々の様子を記載し、職員間で情報交換をし、様々な視点からの記録になるよう心がけている。		現状の取り組みを継続する。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングを実施し、支援計画の見直しに繋げている。		現状の取り組みを継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	基本的には児童発達支援管理責任者が出席している。必要に応じて、担当職員も同席している。		現状の取り組みを継続する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在は、利用している方がいない。		なし。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在は、利用している方がいない。		なし。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて園訪問等で連携を取っている。		保護者、相談支援員を軸に、より連携していただけるようにしていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修の情報がある際は、随時参加を検討している。		専門機関での研修を受ける機会を増やしていきます。
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流する機会はなかなか作ることができていませんが、地域で開かれるイベントに参加するなどの交流を深めている。	どちらともいえない いいえ わからない	現状の取り組みを継続するとともに、コロナやインフルエンザなどの感染状況を踏まえながらではあるが、交流する企画や公共の場の利用を通じて機会を作っていきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	季節の行事の際、地域住民の方との交流を深め、施設訪問、施設見学は受け入れている。		公共の場を利用する機会の取り入れや地域の行事の情報収集をしていながら、地域の方々との交流も図っていきます。また、こちらの行事についても参加していただけるような機会の企画も検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時、支援計画説明時において説明を徹底。また説明のための紙面を用意している。	はい10	現状の取り組みを継続する。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談で支援計画を示しながら丁寧な説明を行っている。	はい10	現状の取り組みを継続する。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施		はい10	より充実した保護者の方々への支援ができるように研修の機会や職員とのやり取りの確保、また情報提供を行っていきます。また職員間でしっかり共有していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々連絡帳で情報交換を交換を行っているが十分ではないので、お迎えの際にマジックミラーで保育の様子をみてもらいながら、情報交換を行っている。また面談の時間を十分にとり、相談にのったり、支援方法や子育てについての助言を行っている。	はい10	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		はい10	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	できていない。	はい1 どちらともいえない1 いいえ1 わからない7	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	保護者からの苦情等があった場合は施設全体で周知、また対応を検討し改善していている。	はい4 わからない6	現状の取り組みを継続する。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	紙面やホワイトボード、絵カードを利用し、視覚的にもわかりやすくするなどしています。保護者との連絡手段としてLINEやショートメッセージを使用しています。	はい10	現状の取り組みを継続する。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月ゆらんこ通信を発行しています。	はい9 わからない1	FacebookやインスタグラムなどSNS等でも発信していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員への個人情報保護についての認識の徹底。保護者に向けては個人情報使用同意書、及び写真掲載の同意書を取り、取り扱いに注意している。また名前を記載している物品についても扱いを注意している	はい10	現状の取り組みを継続する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	法人でのマニュアル策定に参画し、感染症対応マニュアルを策定。職員会議にて全職員に周知及び事業所のみでの対応についても検討した。他のマニュアルについても同様に策定していく。	はい10	職員間だけではなく、保護者の方々へより周知していく為の方法について、検討し実施していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	地震、火事、不審者、台風、水害(水辺での遊び方や注意点)などの災害、非常事態を想定し避難訓練を行っています。	はい7 どちらともいえない1 わからない	今後も様々な場合を想定した訓練を計画・実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	法人全体研修での人権擁護、虐待研修を行いました。事業所内においては日々の支援の中で振り返りを行うとともに必要であれば個々の職員に応じて振り返りをしている。		現状の取り組みを継続する。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	法人で身体拘束禁止に関する施設内取り決め事項を決定。またやむを得ない場合があるときは保護者と懇談での了解をとり、支援計画に記載する。		現状の取り組みを継続するとともに支援方法の検討しながら、今後も取り組んでいきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書が必要なケースはないが、保護者からの情報を得て食物アレルギーの対応をしている。		現状の取り組みを継続する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集を作成しているが十分ではない。		事例集を十分に作成するとともに、職員間でより共通した意識を持てるよう、取り組みを継続していきます。
	1 子どもは、通所を楽しみにしているか	「たのしい」というたくさんの経験を通して、色々な物事に興味関心を持ち、チャレンジする気持ちが芽生え、子どもたちの「できた！」がいっぱいになるよう支援しております。	はい10 ・週2日通っていますが目を輝かせているのを見て安心いたします。 ・尋ねると毎回「楽しい」と言ってます。	現状の取り組みを継続するとともに、より子どもたちが通所を楽しみにしていただけるように様々なプログラムを考えていきます。
	2 事業所の支援に満足しているか		はい10 ・たまに外出もしてくださり子どもが飽きないよう工夫してくださっています。少人数なので手厚くみてくださっていて感謝です。	現状の取り組みを継続するとともに、より満足していただけるように職員の資質向上に努め、様々なプログラムを考えていきます。